

## 【予算案等提案理由】

続きまして、今回提案をいたしております**新年度予算案**について申し上げます。

一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、先ほど申し上げました取り組みを進めるため、本市の厳しい財政状況を考慮して、予算を編成いたしました。

予算編成にあたりましては、昨年11月に策定した「第2期中期財政運営方針」に掲げる、事務事業の見直しや総人件費の抑制など、財政健全化の取り組みを継続・強化するとともに、学校や子育て支援施設の整備など、本市の持続的発展に繋がる大型プロジェクトを着実に進めるため、他の投資的経費を極力抑制し、後年度の財政負担を軽減・平準化するよう努めたところです。

また、市政運営の指針である「第2次大田市総合計画・後期計画」に掲げる将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」の実現に向けた施策につきましては、重点的に予算配分いたしました。

歳入につきましては、定額減税の終了等に伴い市税が増収となるほか、職員の給与改定に伴い地方交付税も増収となることから、基金からの繰入金を除いた一般財源の総額を、対前年度5億7千万円余の増収と見込んでいます。

歳出につきましては、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高の影響を受けている市民の皆さまや事業者の皆さまへの支援策を講じるとともに、持続可能な行財政運営を実現するため、これまで以上に事業の選択と集中を徹底し、可能な限り収支不足の圧縮に努めたところです。

この結果、一般会計当初予算の総額は、対前年度18億3千万円、7.6%増の259億8千万円としたところであり、合併20周年という大きな節目を迎えることから、本予算を「『次の10年』に向けて、おおだの新たな一步を踏み出すための予算」と位置づけ、先に申し上げました施策を迅速かつ確実に実行してまいります。

特徴的な事業としましては、「第3次大田市総合計画」等の策定に向けた「総合計画・総合戦略策定事業」、小・中学校の円滑な統合を進めるための「小学校統合事業」並びに「中学校統合事業」、国内外に誇れる地域資源の魅力を再発信していくための「世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年記念事業」、令和8年度の供用開始に向けて建設工事に着手する「隣保館新築整備事業」、物価高騰対策として子育て世帯の負担軽減を図るための「学校給食費無償化事業」並びに「保育所等副食費無償化事業」などであります。

このほか、安全確保に向けた公共施設の緊急補修・修繕対策を計画的に進めるとともに、結婚・出産・子育て支援の充実、消防・防災力の強化、協働・共創のまちづくりや大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保につきましても、継続して取り組んでまいります。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等につきましては、その対応調書をタブレットに掲載しています。

次に、**令和6年度の補正予算案**につきましては、一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程しています。

一般会計補正予算につきましては、飼料価格の高騰が続く畜産事業者への追加支援や各種基金への新規積立金等を計上する一方、各種事業の実績減を併せて計上し、総額1億1千万円余を減額するものであり、補正後の一般会計の予算総額は、257億1百万円余となります。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案につきまして、本会議へ提案いたしております。詳細につきましては、それぞれ担当部課長に説明させますので、十分にご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。